

●氾濫をできるだけ防ぐ ・減らすための対策

河川区域
集水域

ためる、しみこませる

[県、市、企業、住民]
雨水貯留浸透施設の整備、
田んぼやため池等の治水利用

ためる

[県、市]
遊水地等の整備・活用

安全に流す

[県、市]
河床掘削、砂防堰堤、雨水
排水施設等の整備

⇒日方川の治水対策、
法面工、
間伐等の森林整備、
など

氾濫水を減らす [県]

「粘り強い堤防」を目指した
堤防強化等

●被害対象を減少させるための対策

集水域
氾濫域

よりリスクの低いエリアへ誘導/住まい方の工夫

[県、市、企業、住民]
土地利用規制、誘導、移転促進
不動産取引時の水害リスク情報提供、金融による誘導の検討
⇒宅建業法改正 水害リスク情報の重要事項説明が義務化

被害範囲を減らす [県、市]

二線堤等の整備



●被害の軽減、早期復旧

・復興のための対策

氾濫域

土地のリスク情報の充実 [県]

水災害リスク情報の空白地帯解消等

避難体勢を強化する [県、市]

長期予測の技術開発、
リアルタイム浸水・決壊把握、
防災情報の充実

⇒避難場所の安全レベル設定、
防災ナビアプリの普及啓発、
水位計・監視カメラの設置、
タイムラインの作成、
ハザードマップの整備

経済被害の最小化 [企業、住民]

工場や建築物の浸水対策、BCPの策定
⇒県でBCP策定ワークショップを
開催

住まい方の工夫 [企業、住民]

不動産取引時の水害リスク情報提供、
金融商品を通じた浸水対策の促進
⇒宅建業法改正 水害リスク情報
の重要事項説明が義務化

氾濫水を早く排除する

[国、県、市等]
排水門等の整備、排水強化

支援体制を充実する [国、企業]

官民連携によるTEC-FORCEの体制
強化

※具体事例がないところも含め今後検討を進めていく

○日方川流域において、概ね最大60分雨量70mmの水災害による被害を軽減するための治水対策を行うとともに、流域における事前防災対策を推進し、浸水被害の軽減を図る。



● 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【河川における対策】

- ・日方川：堤防整備、河道掘削、護岸工、橋梁架替

【流域における対策】

- ・法面工
- ・間伐等の森林整備

● 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・水位計・監視カメラ等の設置
- ・洪水ハザードマップの作成・周知
- ・避難場所の安全レベル設定や和歌山県防災ナビアプリの普及啓発等による迅速な避難行動の促進
- ・避難所の安全対策、誘導體制等の構築・強化
- ・観測・情報発信・警報設備等の構築・強化
- ・防災教育や避難訓練等の実施
- ・避難時間確保のための体制等の強化 等



※具体事例がないところも含め今後検討を進めていく